

2026 年（令和 8 年）第 63 回定時會員總會

事前質問・回答集

公益社団法人 大阪府鍼灸師会

**【質問1】**（河南地域 井尻先生）

令和8年度事業計画運営方針の「公益社団法人としての質の向上」について具体的な内容を教えてください。

**【回答】**（会長代行 荒木善行）

ご質問ありがとうございます。

「公益社団法人としての質の向上」につきましては、公益法人として求められる公益性・透明性・適正な組織運営をより高め、社会や府民、会員から信頼される団体運営を行うことを目的としております。具体的には、理事会運営や規程整備などガバナンスの強化、法令遵守の徹底、地域連携等の公益事業の充実、生涯研修を通じた会員資質の向上、そして情報公開の充実による説明責任の強化に取り組んでまいります。

公益社団法人設立以来、この運営方針は掲げ続けているのですが、令和6年度運営方針から一度外しましたところ、大阪府の立ち入り検査で様々なご指摘を受け、役員一同気を引き締めるためにも令和7年度運営方針より再度掲げております。

今後も公益社団法人としての社会的責任を果たしながら、府民の健康増進と鍼灸業界の発展に資する運営に努めてまいります。

**【質問2】**（河南地域 井尻先生）

府民への鍼灸の普及啓発事業について河南地域では、毎年はびきの健康まつりに参加している。昨年は、数人の先生方で2時間半で約140人のはり体験と健康相談を行った。本会の他の事業活動と比べて、その貢献度は、今後謝金に値しないものかデータと理由を教えてください。地域活動として、ご協力頂いている先生方のボランティア精神とやる気を失うことを懸念している。

**【回答】**（副会長 久保俊仁）

平素より地域での鍼灸普及活動に感謝申し上げます。

はびきの健康まつりにおいては、毎年参加されて多くの府民の方の健康に寄与して頂いていることは、本会としても重々承知しております。

ただ地域での普及活動されている先生方には大変申し訳ございませんが、本会としまして令和8年度の公益活動はスポーツイベントへのサポートに注力し、各種健康イベント及び研修事業については苦渋の決断ではありますが予算削減とさせていただきます。

しかし、各地域での普及活動同様、本会での普及活動の大きな役割を果たしていただいております、大いに価値があることです。

令和8年度の関しましては、大変申し訳ございませんが、一刻も早い地域事業への本会サポートを目指してまいりますので、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

昨年12月18日 大阪マラソンケアステーション視察で起きた件について

1月18日の理事会で正副会長より報告があったようですが、当時法人管理委員長として私自身の認識と異なる報告がありました

**【質問3-1】**（河北地域 浅井先生）

何故理事会での報告で虚偽報告をしたのか

**【回答】**（会長代行 荒木善行）

理事会での虚偽報告とのご指摘についてですが、誰も虚偽報告をしておりません。

令和8年1月（第7回）理事会において、荒木から本件について「大阪マラソン実行委員会への対応について再度ヒアリングし、現状スポーツイベントでは毫鍼は使用せず、今まで通りのサービス提供することを確認。今後毫鍼の使用を検討するのであれば、しっかりとした調査と研修等の対策が必要」と報告しております。この発言に一切の虚偽はございません。

大阪マラソン視察で、毫鍼の使用可否について、当会担当者から発信したのか、大阪マラソン組織委員会担当者からの発信なのか、という点ですが、このことに関しましては当初大阪マラソン組織委員会担当者からの発信と報告を受けておりましたが、それは発信ではなく担当者からの発言を聞いて当会担当者から質問を行ったと1月11日に担当者本人からヒアリングしており、同月15日の正副会長会議にて報告しております。また担当者本人も3月の第8回理事会で説明しております。

本件の対応に当たったものとしては、虚偽報告ではなく状況説明の違いという認識のもと対応を行いました。

**【質問3-2】**（河北地域 浅井先生）

私自身は重大な問題として認識しているが業務執行理事はどう認識しているか

**【回答】**（会長代行 荒木善行）

業務執行理事として、本件について簡単な問題として認識・処理したつもりはございません。

当然、大阪マラソンへのサポートボランティア活動が滞りなく継続出来るよう、大阪マラソン組織委員会に対して慎重に対応した次第です。また会内においても対外活動を行う上で、担当者は本会代表としての立場となることの重大性を口頭にて指導を行いました。

公益活動の重要性や、これまで先人が積み上げてきたことを踏まえ、決して軽い問題ではないことは重々承知の上、対応した次第です。

**【質問3-3】**（河北地域 浅井先生）

堀口前会長がこの件で責任を取り辞任したのか

**【回答】**（会長代行 荒木善行）

堀口会長につきましては、理事会混乱の責任を取り、会長を辞任されることになりました。また、体調不良により長期的な加療が必要であることから、理事も辞任されます。少なからず本件に関しましても速やかな解決ができなかった責任は痛感されておられます。

**【質問3－4】**（河北地域 浅井先生）

この件が原因で私を含め4名の辞任届が提出されている事に対しどう思われているのか  
この件に関しまして説明責任・責任の所在・責任の取り方・今期残り1年の人事に関して

**【回答】**（会長代行 荒木善行）

4名の理事辞任届が提出されていることは、異常な事態だと認識しております。  
速やかな解決ができなかった正副会長（業務執行理事）の責任だと痛感しております。  
4月の理事会で正副会長は役職の辞任届を理事会に提出しております。  
そのうえで、同日理事会において代表理事互選が行われ、現業務執行理事となっております。  
一刻も早く正常な理事会運営に努めなければならない一心であります。任期残り1年間で  
現理事全員で一丸となって務める所存です。

**【質問3－5】**（河北地域 浅井先生）

理事を拝命してから本会運営に対して自分の担当部署の仕事、自分のできる事は一生懸命して来た  
つもりです。少しでもすっきりした状態で辞任させてください

この案件を解決する事が今後の本会運営、会員の利益になっていくと思います

**【回答】**（会長代行 荒木善行）

浅井先生の理事・監事としての貢献は計り知れないものだと誰もが認めるところです。これまで理事・監事として本会のためにご尽力いただていることに厚く御礼申し上げます。  
本件の解決、そして信頼のおける理事会運営はじめ会務運営を行うことが、本会のため、すなわち会員の先生方のためでもあるというお考えも全く同感であります。